

WINGS-CER及びSPRING GX に関する説明会

(1) (WINGS-CER)

教育研究創発国際卓越大学院教育プログラム

(2) (SPRING-GX)

『グリーントランスフォーメーション(GX)を先導する高度人材育成』プロジェクト

(参考1) 日本学術振興会特別研究員(DC)への申請について

(参考2) DCの概要:令和9(2027)年度募集要項から(一部抜粋)

(1) 教育研究創発国際卓越大学院教育プログラム (WINGS-CER)

■専用HP <http://www.p.u-tokyo.ac.jp/gs/wings-cer>

■募集情報

定員：教育学研究科で10名程度

応募時期：修士課程2年次の5月

応募資格：学振DC1申請済の者

■修了要件：学位論文(含 博士修了必要単位)、国際研修(3単位)、
報告会(含 QE, FE)への参加、

※博士修了必要単位および国際研修(3単位)は標準修業年限内に取得すること。

■経済的支援

修士2年9月～3月 卓越RAに対する報酬 (月額8万円)

博士課程3年間 研究奨励金(月額18万円)

教育研究創発国際卓越大学院

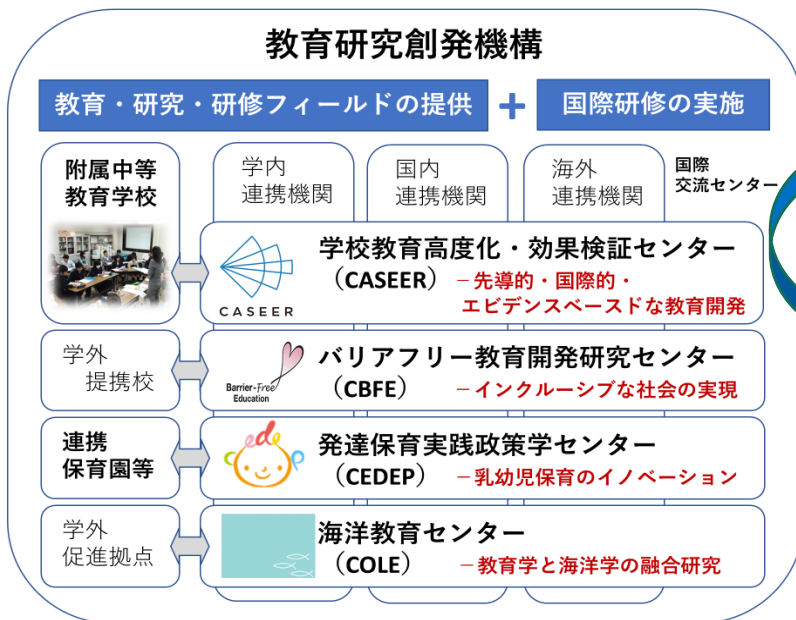
World-leading INnovative Graduate Study for Creating Educational Research
(WINGS-CER)

養成する人材像：過去と未来を検証・架橋しエビデンスと明確な理念に基づいて政策立案並びに分野融合型の教育関連の先導的な理論と実践を創発し、その成果を広く社会および海外に発信する「知のプロフェッショナル」
人材ニーズ：国内外の大学・研究所、国内外の行政機関やシンクタンク、NGO等に上記のような高度なプロフェッショナルを輩出



分野融合型の先導的教育研究とその国際発信

担い手となる知のプロフェッショナルの育成



FE 博士論文提出と口頭試問（公開）

(WINGS-CER生としての研究活動)
 ・ 毎年の国際研修（研修、国際学会発表等）とその評価
 ・ 自身の研究テーマを踏まえ所属専攻修了要件科目を修得
 ・ 左記学際プロジェクト等への参加により、WINGS-CER生としての資質を高める。

QE (WINGS-CER生としての研究内容を確認)
 ・ 今後の研究活動テーマ
 ・ 博士課程進学後に必要な資質の有無

(WINGS-CER生へ移行/卓越RAの活動開始)

JSPS-DC1提出申請書+単位習得状況+面接により10名程度を選抜



総合教育科学専攻（定員67名/7コース）
 学校教育高度化専攻（定員21名/3コース）

博士課程修了時
 ・ FE実施

博士1～3年PG生としての研究活動

修士課程修了後に引き続き博士課程進学

修士2年3月
 ・ 修士課程修了判定
 ・ WINGS-CERのQE判定

修士2年9月：採用

修士2年6月～7月選考
 修士2年5月：申請受付

(M2年次夏学期募集開始)

修士1年4月：制度紹介

(M1年次進入学ガイダンス)

(2) 『グリーンTRANSフォーメーション(GX)を先導する高度人材育成』プロジェクト (SPRING-GX)

■専用HP: https://www.cis-trans.jp/spring_gx/

■募集情報

応募時期: 修士課程2年次の1月

※WINGS-CER採用者も応募することができる

■義務: 大学本部企画する GX基幹プログラムへの参加、高度スキル要請プログラムへの参加
所属WINGSが提供する 高度スキル養成プログラムへの参加

■経済的支援: 博士課程3年間 研究奨励費 (月額18万円) ※

研究費 (年間36万円)

海外渡航費 (別途申請・審査あり)

※SPRING-GX制度変更にともない2027年度以降、留学生に学生に対する研究奨励費は月額9万円。

制度概要

WINGS-CER

■性格:博士課程の学位授与プログラム

■目的:新たな教育研究の創発に貢献する国際的人材を育成
・教育分野における国際的リーダー人材を養成しその研究成果を広く社会および海外に発信する。

■支援:卓越した研究能力を有する大学院生の博士課程進学を促進するとともに確実な研究遂行を支援する。

■カリキュラム等:自身の研究活動計画を踏まえ、指導教員と相談。

- 1)修士課程では、所属専攻修了要件を満たすように履修する。
- 2)博士課程では、所属専攻修了要件を満たすように履修する。
- 3)「国際研修」3単位を必修科目として履修する。

■プログラム修了要件

- 1)「国際研修」3単位を修得すること。
- 2)上記に加え、所属専攻の修了要件を満たすこと。
- 3)本プログラムの定めるQE及びFEに合格しかつ博士の学位論文審査及び最終試験に合格すること。
・この要件を満たした者に対し、「博士学位記」と「WINGS-CER修了証」が授与される。
・博士学位記には「教育研究創発国際卓越大学院を修了した」が追記される。
※上述2)3)は博士課程3年までに完了することが必要。

SPRINGGX

■性格:経済的支援

■目的:東京大学のすべてのアセットを投入し、グリーントランスフォーメーション(GX)実現に向けて活躍する人材をあらゆる分野に規模感をもって輩出する。

■支援:博士人材の育成のためのプログラムの提供と経済的支援を行う。

■カリキュラム等:全学および所属WINGSから提供される

- 1)全学としてGX基幹プログラム
・GX俯瞰講義、グリーン未来交流会、GXインスパイア講義、
- 2)全学として高度スキル養成プログラム
・海外派遣プログラム、産学連携インターンシップ、キャリアパス支援、
- 3)所属するWINGSとしてのプログラム
・教育学研究科高度スキル養成プログラム

■自身の入学専攻コースに正規の籍を置き、全学に20あるWINGSの一つにも所属し活動する。

経済的支援

WINGS-CER

- 修士課程(2年次生の9月～3月)
 - ・卓越RA(リサーチ・アシスタント)として委嘱し、自身の研究テーマに基づく学術研究業務に対する対価として月額8万円の報酬を支給。
(実際の支給額は源泉徴収後の金額となります)
- 博士課程(1年次生の4月～3年次3月)
 - ・採用期間中は月額18万円の奨励金を支給。
 - ・税法上雑所得⇒所得税・住民税の対象となり確定申告が必要
- プログラム生は、日本学術振興会特別研究員DCの申請資格を有する間は、その申請を必須とする。
日本学術振興会特別研究員DCあるいはSPRING-GX生に採択された場合、WINGS-CER奨励金は終了となるが、プログラム生は継続する。

SPRINGGX

- 博士課程(1年次生の4月～3年次の3月)
 - ・採用期間中、経済的支援として、次の経費を支給。
 - 1) 毎月18万円※の研究奨励費
(税法上雑所得⇒所得税・住民税の対象。確定申告が必要)
 - 2) 年間36万円の研究費
 - 3) 海外渡航旅費(審査を経て支給)
- ※SPRING-GX制度変更にともない2027年度以降、留学生に対する研究奨励費は月額9万円。
- プロジェクト生は、日本学術振興会特別研究員DCの申請資格を有する間は、その申請を必須とする。日本学術振興会特別研究員DCに採択された場合、SPRING-GX経済的支援は終了となるが、プロジェクト生としての活動は継続する。

WINGS-CER生、SPRING-GX生としての主な活動等

WINGS-CER

■修士課程(2年次9月～3月)

WINGS-CER生(卓越RA)としての研究計画をふまえた研究活動を行う。

- 卓越RAとして12月に「中間」、3月に「終了」報告書等を提出
- 2月末のWINGS-CER年度末報告会に参加
※ここでの発表は本プログラムのQEを兼ねる
- WINGS-CER生として毎年度3月末に「研究進捗状況報告書」等を提出

■博士課程(1年次～3年次)

- WINGS-CER生として研究を遂行
- 博士課程3年までに、「国際研修」(必修3単位)を修得。
- 博士課程3年までに、所属専攻修了要件を満たすように科目履修。
- 毎年度末に開催するWINGS-CERの年度末報告会に参加
- 博士3年次生は年度末報告会での報告は求めないが、個別に博士学位申請論文口述試験に併せてFEの審査
- 毎年度3月末に「研究進捗状況報告書」等を提出

■プログラムの運営:WINGS-CER運営委員会

- ・各種連絡等:学生支援チーム(国際卓越大学院担当)を通じ適宜連絡

SPRING-GX

■博士課程(1年次～3年次)

自身の入学コースに正規の籍を置き、全学に20あるWINGSの一つにも所属し自身の研究活動を行う。

- SPRING-GX統括オフィスが提供する【基幹プログラム】および【高度スキル養成プログラム】に必要な応じて参加
(※一部に参加必須プログラムあり。)

・基幹プログラム

… グリーン未来交流会、GX俯瞰講義、GXインスパイア講義

・高度スキル養成プログラム

…海外派遣プログラム、産学連携インターンシッププログラム

- 各WINGSが提供する高度スキル養成プログラムに参加
…教育学研究科高度スキル養成プログラム

■プロジェクトの運営:全学SPRINGGX統括オフィス

- ・各種連絡等:基本的には統括オフィスから直接発信。
場合により部局事務を通じた連絡もある。

スケジュール

WINGS-CER

《修士2年次》

- ・4月 : 募集要項公表
- ・5月中旬: 申請の前提となる学振DC1申請[※]・・・要注意
- ・5月下旬: WINGS-CER申請(R8年9月採用分[※]5/26)
- ・6月: 審査 ~ 7月中旬審査結果発表 ~ 7月下旬: 採用手続
- ・9月1日: 採用
- ・12月 : 卓越RA研究業務(中間)報告書提出
- ・2月下旬: 年度末報告会兼QE
- ・3月下旬: 卓越RA研究業務(終了)報告書提出
WINGS-CER生としての「研究進捗状況報告書」および
「研究実績積上一覧」提出

《博士1年次~3年次》

- ・4月 : 博士課程進学
- ※5月中旬: 学振申請資格を持つ者のDC2申請[※]・・・要注意
- ・5月末 : 科目履修状況確認票(夏期分)提出
- ・10月末 : 科目履修状況確認票(冬期分)提出
- ・2月下旬: 年度末報告会発表(1・2年次生のみ)
- ※3年次生はFE(博士学位申請論文口述試験に併せて実施)
- ・3月末 : 研究進捗状況報告書/研究実績積上一覧提出
- 適時の活動等
- ・国際研修(3単位)取得するための活動
- ※自身で計画書・報告を作成・提出
(報告書はWINGS-CER運営委員会で判定。合格⇒単位付与)

SPRING-GX

《博士入学予定者が対象》

- ・12月 : 募集要項公表
- ・1月下旬: 申請[※]
- ・2月 : 審査
- ・3月中旬: 審査結果発表
採用申請手続き

《博士1年次生~3年次生》

- ・4月 : 博士課程入・進学
- ・以降、前ページに示した
『全学SPRINGGXが提供するプログラム』
及び
『所属するWINGSが提供するプログラム』
に参加する。
- ・SPRINGGX本部からの連絡に対し、適時に対応する。
- ※5月中旬: 学振申請資格を持つ者のDC2申請[※]・・・要注意
- ・毎月の手続: 部局事務への連絡
SPRINGGX研究奨励費を受けているプログラム生は所定のFormsによる
『在籍・プロジェクト継続確認』の報告が必須。(毎月7日報告[※])

(参考1) 日本学術振興会特別研究員DCへの申請について

WINGS-CER生

■WINGS-CERへの申請する修士2年次生

⇒⇒日本学術振興会特別研究員DC1への申請が必須

■博士課程のWINGS-CER生

⇒DC2への申請資格を有する場合は、DC2への申請が必須

SPRING-GX生

■SPRING-GX生に採用された博士課程学生

⇒⇒DCへの申請資格を有する場合はDC2への申請が必須

■2027年4月採用分の申請は、研究科HP>在学生向けWebサイト>大学院掲示板にて周知済。

https://www.p.u-tokyo.ac.jp/students/cat_class/class-graduate_20260227/

■手続き概要

- 1) 学振電子申請システム用ID・PW申請書を学生支援チームへ提出し、所定のID/PWを入手する。
- 2) 各種の説明にしたがい、所定の書類を作成する。
- 3) 申請用データが整っていることを確認し、学振電子申請システムにてアップロードする。

■本研究科では、5月14日（木）17時までに所定のアップロード作業が完了した者を、DC1・DC2への申請完了者とします。

※日本学術振興会HPに示されている締め切り日ではないことに注意すること。

(参考2) 日本学術振興会特別研究員(DC)の概要 ～令和9(2027)年度募集要項から(一部抜粋)

■詳細は日本学術振興会HPの専用Webサイトにて確認すること。

https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_sin.html#u20230706120538

■申請資格 採用時において以下の要件を満たしていること

DC1＝令和9(2027)年4月1日現在、我が国の大学院博士課程1年次に在学する者(在学月数12か月未満)

DC2＝令和9(2027)年4月1日現在、我が国の大学院博士課程2年次以上(在学月数12か月以上36か月未満)に在学する者

■採用期間 DC1＝令和9(2027)年4月1日から令和12(2030)3月31日までの3年以内

DC2＝令和9(2027)年4月1日から令和11(2029)3月31日までの2年以内

■研究奨励金 DC1、DC2ともに月額227,000円(予定)

■研究費等 科学研究費補助金(特別研究員奨励費)を必要とする場合、**DC申請と同時申請をすることが必要**

。

※申請の詳細は、DC募集要項の「Ⅱ 科研費公募要領」を確認してください。以下は要項に掲載されている表のうち、(区分A)の記載内容を抜粋したもので、細かな説明は省略していますので、参考として記載します。

応募総額(区分A):研究期間3年＝240万円以下、研究期間2年＝160万円以下、研究期間1年＝80万円以下